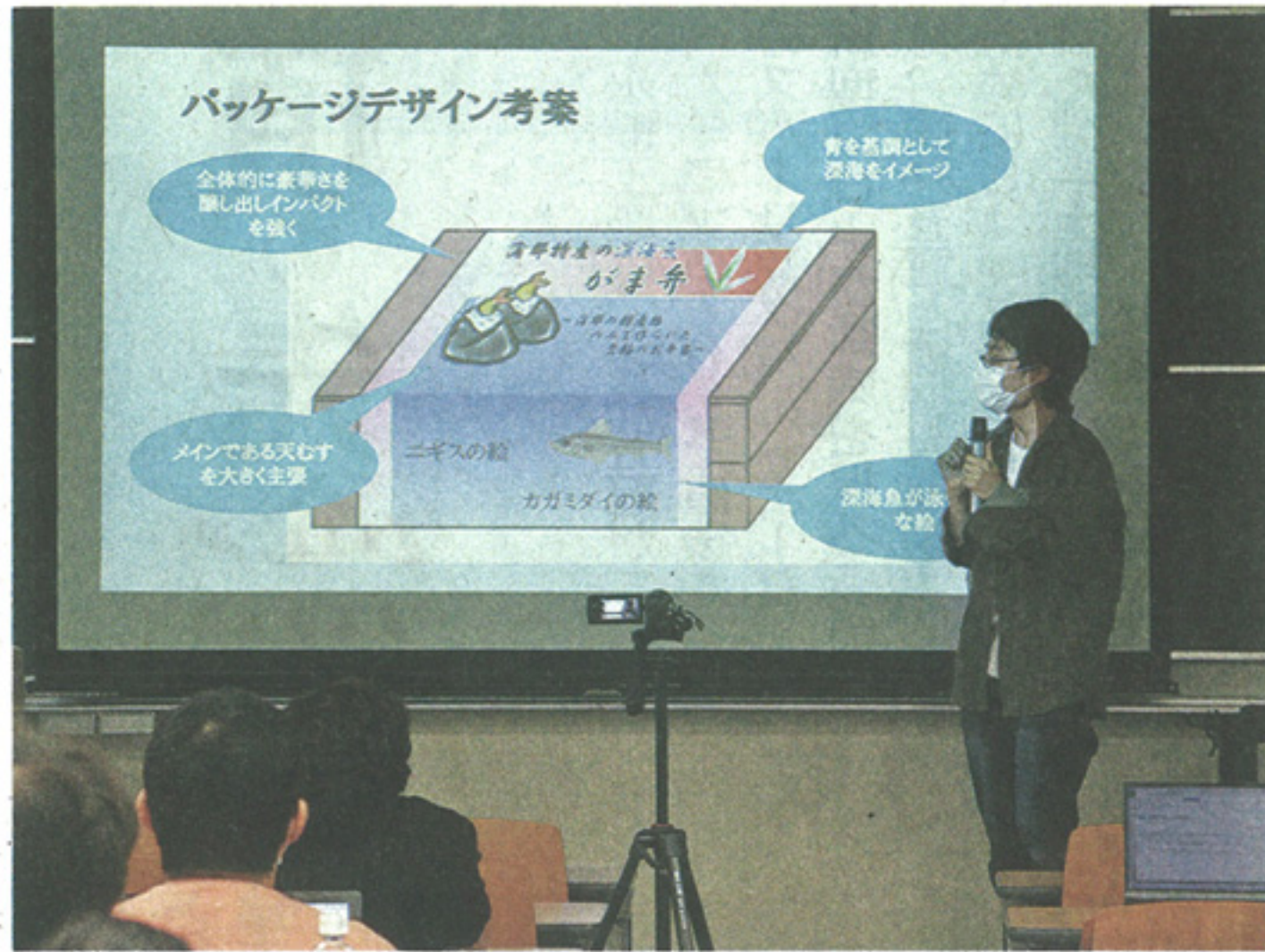


産学官連携へ 蒲郡市事業に愛知工科大生ら参加

地元企業開発弁当の 包装デザインを提案



弁当の包装デザインを発表する 学生＝蒲郡市の愛知工科大で

蒲郡市の愛知工科大の学生らが地元の食品関連企業に、商品の弁当などの包装デザインを提案した。二日に大学内でデザイン案を発表した。

三、四年生の四十四人が

九グループに分かれ、市内で飲食店を展開する笹やグループの「SASAYA」の「ガマ弁」などの包装デザインを考案した。ガマ弁は深海魚メヒカリを使った天むすやカガミダイの塩焼きな

ど地元の食材を使った千二百円の弁当。ポトレース蒲郡の場外指定席フードコートにある店舗で予約制で販売している。

各グループは市販されている弁当や駅弁の包装を分析し、「限定感がある」「健康」「かわいい」といったニーズの高いキーワードを確認。これらのイメージを基に、蒲郡の海産物を使った点をPRするため、深海をイメージした青色の背景に魚の絵を描いたデザインなどを提案した。

同社の笹野弘明社長は「私の思いを酌んでくれた素晴らしいデザイン。皆さんの提案を採り入れるように検討したい」と話した。

取り組みは産学官連携を促す市の事業の一環で、若者が活躍できる場を設けようと企画。地元のヤマロク食品のカップ麺「即席ガマゴリうどん」の包装デザインも考えた。(西山輝一)

茶山園
アピタ安城南
グエルサウオーク西尾
製造元